

第一学年 道徳学習指導案

指導者 盛岡市立乙部中学校 教諭 及川 千暁

- 1 日時 平成16年9月22日(水) 第5校時
- 2 学級 盛岡市立乙部中学校 1年B組 男子16名 女子17名 計33名
- 3 主題名 集団生活の向上 4-(1) 資料名「選手に選ばれて」
東京書籍「中学道徳 明日をひらく1」

4 主題について

内容項目4-(1)は、「自己が属する様々な集団の意義についての理解を深め、役割と責任を自覚し集団生活の向上に努める」ことを目指している。本時では特に、生徒一人一人が利己心を克服し、協力し合って集団生活の向上に努める心情を養うことをねらっている。

生徒たちは、中学一年生という時期もあるが、自己中心的な考えを持ってしまう生徒が、相手や集団を優先させて考えることができる生徒を若干上回る。集団で何かをやり遂げたという満足感や達成感は大きく感じるものの、心を合わせて努力しようという雰囲気はなかなかつくれる。

自分の考えを書き表すことはできるが、発表や意見交換に関しては消極的であり、話し合いは班単位でさえ難しいという実態である。友達の考えを聞くことによって考え直したり考えを深めたりすることができるが、そのためには指名発表や学級通信による紹介が必要である。

そこで、資料「選手に選ばれて」を使って、集団の一員として自他の立場を理解し、進んでみんなのために尽くし、集団生活の向上を図ろうとする意欲を深めたいと考え、この主題を設定した。

5 本時のねらい

生徒一人一人が互いの立場を理解し、協力し合って集団生活の向上に努めようとする心情を養う。

6 本時の指導の構想

資料『選手に選ばれて』は、主人公であるA君が、学級選挙で一方的にリレーの選手に選ばれるが、勉強に専念するため「今年は絶対に出ない。」と異議を申し立てるというストーリーである。それに対して学級は、「選挙で決まった以上義務があるし、また、個人のことで学級のことでどちらが大切か」と訴え、主人公は「学級のことも大切だが個人の気持ちも大切にしたい」と訴えるところで、結論を持ち越して話は終わる。

授業の導入では、「今までに、何かの仕事や役職を、本意でないのに引受けたり押し付けられそうになったりしたことはないか」という問いに対して、数人に指名しその時の気持ちを発言させ、全ての役職が立候補により決まるのが理想だが必ずしもそうはいかない、ということに気づかせる。

授業の前半では、A君がリレー選手を断るまでの理由や心の動きを(批判的な意見から共感的な意見へという流れで)十分に把握させる。そして、学級の言い分についてその正当性や不当性について検討させる。授業の後半では、「この学級のみんなが考えなければならないことは何か」を考えさせて価値に迫りたい。さらに、「自分がこの学級の一員だったらこのあとどうするか」という問いを通して、学級の一員としておたがいの立場をよく理解し合い、協力し合って集団生活の向上に努めようという意欲を深めさせたい。

7 本時の評価の観点

お互いの立場を理解し協力し合って、集団生活の向上に努めようとする心情を自分の言葉で表現できたか。

8、展開

段階	時間	教師の働きかけ (主な発問等)	期待する生徒の反応	指導上の留意点
導入	7分	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今までに、何かの仕事や役職を嫌々ながら引き受けたり押し付けられそうになったりしたことはないか。あるとすればどんな気持ちだったか。 ○ 感想の紹介 ○ 本時の学習課題の確認 学習課題 A君を含めた学級みんなが考えなければならないのは何だろう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最終的には自分で立候補したので、嫌だったわけではない。 ・ 理由もわからず「やって」といわれたときは、押し付けられたようで嫌だった。 ・ 理由を言われたときは、仕方ない、やらなきゃいけないと思った。 ・ 押し付けられてA君がかわいそう ・ 期待されているのだからA君は出た方がいい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまでの学校生活の中でそのような場面にあった生徒に発表させる。 ・ 立候補や希望で決まるのが望ましいが、必ずしもそうできるわけではないということをつかませる。 ・ 相反する二つの感想を紹介し、学習課題へ導く。
展開	40分	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料を読み、あらすじを確認する。 1、A君の考えをどう思うか。 2、学級の言い分をどう思うか。 3、A君を含めた学級みんなに欠けていたことは何だろう 4、自分がこの学級の一員だったらこの後どうするか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分勝手だ。自分のことしか考えていない。 ・ 学級のことを考えていない。 ・ 足が速いから選ばれたのだからやればいい。 ・ 出たくないなら先に言うべきだ。今さら言っても遅い。 ・ 一方的に押し付けられてかわいそうだ。 ・ せっかく自分できめて陸上部までやめたのに、勉強ができなくなるのは大問題だ。 ・ 勉強のおくれは誰が責任をとるのか。 ・ A君だけが損だ。 ・ 決め方が悪いから仕方がない。 ・ 言っていることは正しいかも知れないが、A君の気持ちを考えていない。 ・ A君の気持ちをもっと考えてあげよう。 ・ A君に引き受けてほしい理由をちゃんと伝えるべきだ。 ・ 自分の事だけ考えていたら学級は成り立たない。 ・ 自分のことより集団のことを優先させるのは当然だ。 ・ 選挙で決まったんだから、結果に従うのは当たりまえだ。 ・ 一人一人の意見を言うこと・聞くこと ・ 代表の決め方を確認すること ・ 個人を尊重して考えること ・ 集団を優先して考えること ・ 相手の立場に立ってものを考えること ・ 少し我慢もすること ・ 一生懸命自分の力を発揮するような学級を作ること ・ 「一緒に頑張ろう」とA君を励ます。 ・ 勉強は手伝うから引き受けてほしいと伝える。 ・ A君でなければならない理由を伝える。 ・ A君に、期待されることはすばらしいことだと話して聞かせる。 ・ みんなで笑顔でお願いにいく。 ・ ほかに引き受けてもいいと言う人はいないか、手分けして探してみる ・ もう一度選挙をやり直すよう提案する。 ・ 「引き受けてもいい」という人に頼むよう提案する ・ 体育祭では何をを目指すのか、学級として確認する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ A君が実力を認められ信頼されて選ばれたのに、自分の勉強を優先して考えていることを批判的にとらえさせる。そのあとで、A君がいかげんな気持ちで陸上部をやめたのではなく、一大決心をして勉強に専念しようとしていることを共感的にとらえさせる。 ・ 学級の言い分についてはその正当性と不当性の両方をとらえさせる。 ・ 時間を十分にとり、じっくり考えて書かせる。できるだけ多くの意見を発表させる。 ・ 友達として学級の一員として、自分にできることはたくさんあることに気づかせる。
終結	3分	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教師の感想と実践への意欲づけ 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 普段の学校生活でも多々起こり得る問題なので、お互いに理解しあい協力しあて向上していけるよう努めるよう促す。

資料分析表

主題名	集団生活の向上	資料	選手に選ばれて	
本時のねらい	生徒一人一人が互いの立場を理解し、協力し合って集団生活の向上に努めようとする心情を養う。			
主なる場面	A君と学級の考え	指導の意図	期待する生徒の反応	発問
選挙の後、A君は異議を申し立てる。	【A君】 ・今年はないと決めている。 ・勉強のために陸上部だってやめたのに、なぜ学級のリレーに出なければならぬのか。	嫌だから、という理由ではなく、勉強のため、という理由があること、陸上部をやめるにも随分苦しんだことをつかませる。 (批判→共感)	・仕方ない—勉強も、それを優先しようという気持ちも大事だ。 ・理由を言わなければ ・せっかくの期待には応えたほうがいい ・ずるい—自分勝手だ ・嫌なら先に言えばいい	・A君の考え方や、この場での言動について、どう思いますか。 (判断—理由)
A君に対しての学級の言い分	【学級】 ・選挙で一度決まったからには引受ける義務がある ・自分の都合で引受けないのは自分勝手だ ・個人のことと学級のこととどっちが大切なんだ	(民主主義の原則にのっとって)「学級のためにやるのは当然だ」という考えを押し付けており、A君の気持ちを考えないことを押さえさせる。	・学級のことをみんなで決めたのだから当然だ ・自分のことより学級のことを大切にすべきだ ・個人のことを無視して押し付けるのはよくない。	・学級の言い分についてどう思いますか。 (判断—理由)
結論を持ち越して学級会が終わる。		どちらかが一方的に悪いのではなく、どちらも改めなければならぬところがあることに気づかせる。	・相手の立場に立って物を考えること ・すこし我慢すること ・譲り合うこと ・自分の意見を主張すること ・人の意見を聞くこと ・話し合いをすること ・みんなの意見を公正に言い合える場をもつこと ・考えを共通理解すること	・A君を含め学級のみみんなに足りなかったのはどんなことだろう。
		このような事態は日常生活でも起こりうるということを踏まえ、よりよい解決方法を探し実践しようとする意欲づけを図る	・A君を「一緒に頑張ろう」と励ます ・A君でなければならぬ理由を教えてあげる ・勉強は手伝うから引き受けてほしいと伝える ・期待されることはどんなにすばらしいか話して聞かせる ・みんなで笑顔でお願いしていく ・他に引受けてもいいと言う人を手分けして探す ・決めなおすよう提案する ・「引き受けてもいい」という人をお願いするよう提案する	・あなたがこの学級の一員だったら、この後どうしたらいいと思いますか。

18 選手に選ばれて

学習課題

A君を含めた学級のみんなが
考えなければならぬことは何だろう

1、A君の考えについてどう思うか。

○ 押し付け

- ・無理やり押し付けるのはよくない
- ・出たくないなら仕方ない

○ 成績・勉強

- ・勉強が大事だ
- ・遅れは誰が取り戻すのか

○ A君の事情

- ・またお母さんに怒られたくない
- ・陸上部を辞めた意味がない

2、学級の言い分をどう思うか。

○ 選挙について

- ・押し付けるなんてひどい
- ・勝手に選んだ (もっと考えてあげよう)
- ・みんなの意見が出たからといって
それがすべてじゃない

○ 本人の意志

- ・本人の意志を尊重するべきだ
- ・出るでないは本人の勝手

○ 個人の立場

- ・A君の立場に立って考えるべきだ

3、A君を含めた学級のみんなに
欠けていたことはどんなことだろう

○ 一人一人の意見を言うこと・聞くこと

- ・代表の決め方を確認すること
- ・個人を尊重して考えること
- ・クラスを優先して考えること
- ・相手の立場に立ってものを考えること
- ・少し我慢もすること

4、自分がこの学級の一員だったら

このあとどうするか

はじめに

今までに、何かの仕事や役職を、やりたくないのに引き受けたり押し付けられたりしたことはありませんか。ある人はその時の気持ちを書いてください。

1 勉強に専念するためにリレーに出ないというA君を、どう思いますか。

A 判断

- ・当然である (自分もそうするに違いない)
- ・仕方がない (自分もそうするかもしれない)
- ・悪い (自分であればそんなふうにはしない)
- ・立派である (自分がそうするかどうかはわからないが、A君の考えはえらいと思う)

I 根拠

そのように考える理由を書いてください。

2 「選ばれた以上、クラス全員の代表として出場する義務がある」というみんなの意見を、どう思いますか。

A 判断

- ・当然である (自分もそう思うに違いない)
- ・仕方がない (自分もそう思うかもしれない)
- ・悪い (自分であればそんなふうには思わない)
- ・立派である (自分がそう思うかどうかはわからないが、みんなの考えはえらいと思う)

I 根拠

そのように考える理由を書いてください。

氏名 ()

- ①質問に対して、「判断」とその「根拠」を明確にして答えること。
- ②相手の話をよく聞き、その話に対し自分の考えを述べること。こうしないと話がかみ合わない。
- ③内容は要点を押さえて、はっきり話すこと。聞き取りにくかったり、何を言いたいかわからないようではいけない。
- ④自分の考えと違う人をやり込めるのが目的ではない。しかし、互いに納得がいくように突っ込んで話し合ってみよう。

3 A君を含めたこの学級みんなに欠けていたことは、どんなことだろう。

4 自分がこの学級の一員だったら、このあとどうしたらいいと思いますか。